

令和3年度標準学力調査 指導方法等の工夫改善計画 【国語】

学年	課題となる観点	児童の誤答の系統と分析 (○) 教育指導上の要因分析 (●)	課題改善のための《指導場面 (指導時期)》と具体的な取組
2	思考・判断・表現	○条件にあうようにメモの中から必要な情報を読み取ったり、読み取ったことを文にしたりすることができていない。題意を読み取ることができず、条件を考えないで文章にしたり、メモを文章化することができず単語で答えたりしている。 ●「条件を読み取る」ための読み方の指導と、「単語を文章にすること」の指導が必要である。	《書くことの授業 (7月・11月・12月・2月)》 身近なことや経験したことの報告や観察記録などを書く活動の際は、見聞きしたことを忘れたりその時の思いが薄れたりしないうちに、簡単なメモを書いておいてからそれを使った書く活動を設定する。また、絵や写真などから、登場人物の会話や行動を想像させて、感じたことや想像したことを書く活動を設定する。その中で、言葉や文の続き方に注意して書くようにさせる。 《日記 (通年)》 日記などで思ったことを簡単な文章で伝える場面を設定し、どんなことをどのように書けばいいのかを指導する。
3	思考・判断・表現	○文章中の言葉に反応し、選択肢の言葉を選ぶ傾向にある。「数」を選んだ児童は文中の「八の字」に、「とびかた」を選んだ児童は「八の字ダンス」に反応している。 ●各段落の中心文が的確に把握できていない。第一段落は問題の提示文、第二段落は答え、第三段落はその説明であるという文章構成の指導を行っていない。	《説明的な文章の授業 (11月上旬)》 「食べ物のひみつを教えます」という単元を設定し、読むことと書くことを関連付けて指導する。その際、読むことにおいては、話題と事例との書かれ方を通じて、正しく把握できるようにする。各段落の要点と事例の整理の仕方を指導する。
4	思考・判断・表現	○メモの文章部分にだけ着目し、メモしたことは全て使った方がよいと考えて解答する傾向が見られた。これは、日頃メモをとる際や、メモを基に文章を作る際、要点をまとめて書く力が十分身に付いていない。 ●記号等を使って短く簡単にメモをとる指導や、メモしたことを文章にまとめる際、要点にしぼってまとめることの指導が不十分であった。また、それらのよさを理解させることも不十分であった。	《調べたことをまとめる授業 (7・11・3月)》 「目的に応じて必要なことを比較・分類し、伝えたいことを明確にする言語活動」を位置づけた単元において指導し、その中で、誰に向けて文章を書くのか、何のために書くのか、読み手がどのようなことが知りたいかなど、相手や目的を意識して伝えたいことを明確にさせる。 《調べ学習 (通年)》 社会科や総合的な学習の時間などとも関連させながら、調べたことから目的に合わせて必要なことを選ぶ指導を継続して行う。
5	思考・判断・表現	○情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話す体験が少ないことがわかった。この設問は記述で答える問題形式であり、記述の条件としては次の2点が挙げられる。まず1点目はアの「チカチカ」という言葉と、イの「点滅」というキーワードを比較した文章にすること。2点目は、話し合いにふさわしい言葉づかいで書くということ。条件を満たして書くことに課題が見られた。また、正しい内容を書けているが、敬体で書けていない児童もいた。 ●具体的な相手や目的を強く意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げ説明する学習をすることが十分ではなかった。さらに、筋道を立てた構成メモを作成し、自分の考えを伝え合う学習活動が不十分であった。	《話すこと・聴くことの授業 (5月・6月)》 「話し合い」を位置付けた単元により、対話的な場面を設定し、自分の伝えたいことの中心が相手に分かりやすくなるよう話の構成を考えさせる指導を行う。また、前年度不十分であった、「話の中心」を意識した話し合い活動を仕組み、その中で、冒頭で話の中心について述べさせ、最初に提示した内容と結論がずれないように指導する。 《自分の考えを提案する授業 (2月)》 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど話の構成を考えさせる授業を設定する。
6	思考・判断・表現	○情報と情報との関係について理解し、文章全体の構成を捉えることが難しかった。問題自体の理解ができていなかったと考えられる。 ●複雑な事柄などを分解して捉えたり、多様な内容や別々の要素などをまとめたり、類似する点を基にして捉えたり、類似する点を基にして他のことを類推したり、一定の決まりを基に順序立てて系統化したりする指導が不十分であった。	《説明的な文章の授業 (11月・1月)》 複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりするなど、図示することによって情報を整理し、語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解させる。 《並行読書 (通年)》 説明的な文章 (新聞記事を含む) を読み、それを要約したり、自分の思いや考えをまとめて書いたりする活動を継続して行う。